

# ザ・就職

## 就職内定者インタビュー

早々と中国の廈門(アモイ)大学日本学科の日本語教師に就職が決まった英語科2年柴山恵(長崎県立佐世保商業高等学校出身)さんに話を伺いました。



英語科2年 柴山 恵  
(長崎県立佐世保商業高等学校出身)

**Q1** どうして外国で日本語教師の仕事に就きたいと思ったのですか？

私は、高校2年で全国商業高校英語弁論大会暗唱の部で2位。3年時には九州高校中国語スピーチコンテストで優勝するなど語学に大変興味がありました。その後、韓国・中国・アメリカと渡航経験をし、海外にたくさんの友人ができたのでいつかは海外で働ければいいなあと思っていました。そして、高校のクラスメイトの留学生に日本語を教えているうちに、教えることの楽しさに気づきました。中国で日本語教師をしようと思ったのは、このことがきっかけでした。

**Q2** どのような就職活動をしましたか？

短大に入学して就職(中学校英語2種免許)課程を履修しました。また短大入学当初より、就職講座に参加し、生まれた時(自分の名前の由来)から現在(短大生活)に至るまでの自己分析を徹底的にやりました。就職課には、毎日、顔を出し、先輩たちの内定報告書や企業の資料を調べて、徐々に企業研究を始めました。1年生の終わりごろにインターネットで就職情報サイト「リクナビ」や「みんなの就職活動日記」に登録し、受験したい企業を絞り込んでいきました。また、同じ時期に航空業界研究会に所属し個人面接やグループ・ディスカッションの練習をしました。約半年、毎週1時間の練習で実際の面接の雰囲気をつかむことができ、どんな質問にもすばやく考えて話すことができるようになったと思います。

就職試験では時事についても質問されるので、新聞はかかさずチェックしていました。私は、祖父の影響で新聞を読むのが習慣だったため、特に苦には感じず毎日読むことができました。2年生になって、当初、語学を活かせる航空サービス業を目指していたのですが、就職活動をしていくうちに、外国人に日本語を教えたいという気持ちになりました。ちょうどその時、本学の中国語担当教員より中国廈門(アモイ)大学で日本語教師を募集しているとの情報を頂き、すぐ応募しました。試験は中国であり、学長と英語での面接と廈門(アモイ)大学の日本学科の学生の前で「日本の若者」について30分間話をするものでした。このとき、中学校の教育実習と日本の新聞で読んだ記事のことが大変役に立ちました。

そして最後まで笑顔を忘れませんでした。試験終了後、日本語教師採用内定の連絡を学長より受け、大変感激しました。

**Q3** 後輩に一言

就職は入念な自己分析と企業研究が大切だと思います。自分を高めるために先輩や先生方と話をしたり、新聞や本を読むことをお勧めします。それといつも健康的な明るい笑顔を忘れずにいること。また本当に頑張った人のことは絶対に誰かが見ていると思います。自分を信じて一生懸命に就職活動をすれば必ず結果が出ると思います。みなさんも頑張ってください。

# 入試情報

## 入試課長より入試展望

保育学科は推薦入試の段階から多数の出願がありました。今年度は一般入試での募集人員を増やしています。所期の目標に向かって、最後の、追い込みに期待しています。食物科・英語科についても一般入試での募集枠を増やしており、チャンスは充分に残っています。出願はお早めに!

### 入学試験日程(一般入試 / 3月入試)

試験区分	試験科目	出願期間	試験日	合格発表日
一般1期	食物科・英語 1科目受験 / 国語または英語	1/16(月)~1/28(土) 最終日消印有効	2/4(土) 13:00~	2/10(金) 10:00~
	保育学科 2科目受験 / 国語および英語			
一般2期	食物科・英語 1科目受験 / 国語または英語	2/16(木)~2/28(火) 最終日消印有効	3/4(土) 13:00~	3/10(金) 10:00~
	保育学科 2科目受験 / 国語および英語			
3月入試	面接・書類選考	3/17(金)~3/23(木) 最終日消印有効	第1回 3/24(水)13:00~ 第2回 3/25(土)13:00~	第1回 3/24(金) 第1回 3/28(火)

# 長崎短期大学

食物科 保育学科 英語科

専攻科福祉専攻

〒858-0925 長崎県佐世保市椎木町600 FAX0956-47-5596 入試課 TEL0956-47-5566 njc@njc.ac.jp

## 第千九回

# 長崎短期大学茶道大会

佐世保の師走の風物詩ともいわれ、毎年1000名ほどのお客様をお迎えする茶道大会も29回目を迎えました。今年度は学校法人九州文化学園創立60周年、短期大学も創立40周年という節目の年でもありました。その記念すべき年の12月11日(日)、佐世保玉屋8階に1席80名ほどの濃茶席、7階には1度に200名が会食出来る点心席、富士国際ホテル1階には国際化に伴って考案された、椅子に腰掛けて点前をする立礼席、2階には韓国の姉妹校、釜山女子大学の学生を招いての韓国式茶席を設けました。

本学の学生は、全員が週に1コマの茶道文化の授業を受けており、この茶道大会は短大のすべての教職員と学生が協力し合い作り上げる短大行事の一つで、学生にとっては2年間の学びの披露の場でもあります。

私たちが学んでいる茶道は、地元平戸松浦藩の第9代藩主松浦鎮信公が創始者という「鎮信流」です。代々藩主が宗家(家元)という鎮信流は、強くして美しきを良しとす」といわれるようにに武家茶ならではの凛とした力強さも垣間見られるお点前です。今年も、この宗家を始め多くのお客様に見守られながら無事に終ることが出来ました。1年生には先輩の堂々とした姿に刺激され、来年度は自分も舞台上に立ちお点前を披露したいと意気込んでいる学生もいます。江戸時代から脈々と続いている地元の文化を継承し、お茶の心に少しでも近づけるように努力し、これからも茶道大会が未永く続いていくように精進していこうと思っています。



韓国式茶席



立礼席



濃茶席



立礼席



## クリスマスパーティー

12月11日英語科の一年生が、英会話のグループに分かれ、それぞれの先生の家で、ベースでのクリスマスホームパーティーに参加してきました。今回は古賀亜弓さんと永田彩子さんから参加しての感想をもらいました。『11日、英会話の先生からクリスマスパーティーに招待され、ベースの中にある先生の家に行きました。家に入ると、クリスマスソングが流れ、ターキーやケーキが用意されていました。食事のあとにゲーム形式で、それぞれが持ち寄ったプレゼントを交換しました。会話も進行も英語だったので、言葉や文化を身をもって体験する事が出来ました。アメリカンスタイルのクリスマスの雰囲気を知るととても良い機会となりました。We had a very good time!』

7月の「異文化交流パーティー」や11月の茶道交流会では、外国の方々に日本文化を紹介しましたが、今回はクリスマスパーティーを通じて欧米の文化に触れることが出来、学生も大満足だったようです。

# English Department 英語科

## KINGスクールとの茶道交流会

11月1日長崎短期大学のお茶室「不文軒」にて、KINGスクールの生徒さんや保護者の方々総勢45名のゲストを招いて茶道交流会を行いました。まず始めに短大の学生代表が着物でお点前を披露、その後は少人数グループに分かれて英語で茶道の紹介をしました。初めてお抹茶を飲むKINGスクールの生徒さんが多く苦さに戸惑ったようですが、「苦いけれども、美味しかった」と言う反応でした。その後日本の礼法や文化、習慣について様々なテーマでコミュニケーションを深め、短大の学生にもKINGスクールの生徒さんたちにも良い刺激となっていました。



## オーストラリア 3か月留学

9月のカナダ3か月留学に続き、11月11日に真夏のオーストラリアへ7人の学生が3か月留学に出発しました。留学先であるコフスハーバーに到着し、ホストと対面するまでは期待と不安で頭がいっぱいと話していた学生も週末をホストと楽しく過ごすことができ、留学の手ごたえを感じたようです。先日は、プリズベンの小学校に茶道や書道を紹介に行き、とても好評だったと感激のメールが届きました。写真は、観光名所の一つであるビッグバナナに最初の市内観光ツアーで行ったときのものです。バナナ以外にもたくさんのものを収穫してきてくれるのが楽しみです。



# Early Childhood Education Department 保育学科

## 学園祭「のびのび幼児画展」こどもひろば

10月30日学園祭当日、保育学科のイベント「のびのび幼児画展」と「こどもひろば」が長崎短期大学で開催されました。佐世保市近郊の保育所・幼稚園から326点の幼児画や共同作品が寄せられ、構内は鮮やかな色彩と純真な気持ちに包まれました。また、表彰式に訪れてくれた子どもたちと一緒に遊ぼうと保育学科の2年生たちが運営する「こどもひろば」では、紙飛行機のコーナーやおさかなプールなどたくさんのゲームイベントが準備され、子どもたちのあどけない笑いが絶えることはありませんでした。ここで保育学科の学生たちは、たくさんの子どもたちと触れ合い、保育者への想いを温めてくれたことと思います。



『こどもひろば』



『幼児画(のびのびりんご賞 Y.Tちゃん「ふうせんクジラを読んで」)』



『幼児画展風景』

## 感動の「音楽と動きの夕べ」

11月12日佐世保市コミュニティーセンターにて、第21回幼児のための「音楽と動きの夕べ」が開催されました。ピアノ連弾では、3組の学生たちがそれぞれ「主よ、人の望みの喜びよ」、「初秋から秋へ」、「ハンガリー舞曲No5」などの曲をみごとに弾きあげました。オペレッタクラブは、ミュージカル「白雪姫」を上演、小気味いい笑いとはつらつとした歌声が会場を温かく包み込みました。ダンスクラブは「百花繚乱」というテーマのもと6つの作品を創作しました。そこには、子どもたちとの触れ合い、女性らしい美しさ、友情、未来への熱い想いが咲き輝いていました。マーチングクラブは「サウンドオブミュージック」のヒットナンバーから始まり多彩な演奏の「空想の旅・世界一周」で、音楽することの喜びを伝えてくれました。学生たちの100パーセントの熱演は、感動!いっぱい幕を閉じました。



『オペレッタ』



『マーチング』



『ダンス』



# Food Department 食物科

## ケーキ、ケーキ、ケーキ!!!

年末年始は何となく華やいだウキウキしたムードが漂います製菓コースでは年末はケーキオンパレード!!

まずは1年生。オーソドックスですが、丸デコの生クリームタイプのクリスマスケーキを作りました。前週にバタークリームでしっかりとナッペ&絞りの練習をして、準備万端!!のはずでしたが、いざ本番を迎えるとドキドキしながらの仕上げになりました。オリジナルのケーキを作りましたが、今年はフルーツ一杯のスタイルが多かったようです。出来上がった学生から写真を撮影しました。



満足した笑顔でハイチーズ!!!



2年生は、クリスマスケーキとしてはプッシュドノエルを作りますが、その前にウエディングケーキにチャレンジしました。4つのグループに分かれ、大きなケーキを作りました。生クリーム仕上げ、チョコレートクリーム仕上げ、ガラスージュで仕上げの4つのケーキが出来上がりました。これまで学んだ手法を駆使して作品を作り上げ、こちらも出来栄に満足していました。が、お腹のほうはgive up!! しばらくケーキは遠慮します...との声も聞かれました。

12月17日、粉雪の舞う寒い一日でしたが、一足早いクリスマスと、恒例になった世知原町の老人ホームへの慰問に行きました。今回は2年生7名、1年生11名の学生が、朝からクリスマスケーキを作り訪問しました。クリスマスケーキと、クリスマスソング、そして鉢植えのお花のプレゼントに皆さん大喜びして下さい、なんとお礼にクリスマスリースを頂きました。交流も2年目を迎え、随分深まってきました。

## 450名の会席料理をお手伝い

12月13日、ウェルサンピア佐世保に会席料理のお手伝いに行ってきました。

調理コース1年生5名、2年生4名の計9名での参加となりました。2回目の参加ということもあり、程よい緊張感で臨むことができました。主に盛り付けの作業でしたが、器の使い方や、盛り方の勉強にもなったようです。作業が終わってから、シェフの方から機械の説明があり、実際に真空調理をする過程を見せていただき、良い体験になったようです。又、日頃接する機会の少ない12年生の交流の場になりました。



## お遊戯会参加!

12月4日の九州文化学園幼稚園お遊戯会に保育学科の1年生35名がボランティアとして参加しました。九文幼稚園お遊戯会ボランティアに参加した保育学科一年渡邊美優さんのコメントを紹介します。

『幼稚園でのボランティアは初めてだったこともあり戸惑うこともありましたが、お遊戯会では園児たちがのびのびと演技をしているのを見て、思わず保護者と一緒に笑みをこぼしてしまいました。園児たちがこの様にのびのびと演技出来るのもしっかりと練習指導や準備をされていた幼稚園の先生方あってのものだと思います。』

当日は、先生方が丁寧に指導してくださり無事に役目をやり遂げることが出来ました。これから保育者を目指す私にとってこのお遊戯会での先生方の姿はまさに理想の保育者像であり、改めて保育者になるという決意を再確認出来ました。』

